

CONTENTS

- ・平成26年度FD企画運営部会年間活動計画
- ・第9回公開授業開催報告
- ・編集後記

平成26年度FD企画運営部会年間活動計画

- 新任教員対象FD研修会(4月3日)
- 第2回学修アドバイザー研修会(4月15日)
- 第9回公開授業(6月4日)
- 学長と学生による教育に関する懇談会(10月第1週)
- 第27回全学FD研修会(10月27日)
- IPUミーティング(年5回)
- FD通信(第21~25号)の発行
- 学生を対象とした科目別満足度調査の実施(各学期末)
- 学生を対象とした総合満足度調査の実施(年度末)
- FDネットワーク“つばさ”協議会への出席(年2回)
- 『教員ハンドブック(授業編)』の改訂



今年度のメンバーをご紹介します。

富田美加准教授(FD企画運営部会長)、糸嶺一郎准教授(看護学科)、浅川育世准教授(理学療法学科, 附属病院兼務)、岩崎也生子助教(作業療法学科)、藤井義大助教(放射線技術科学科)、庄司俊之囑託助手(人間科学センター)、馬場健教授(医科学センター)、本谷忍教務課長(事務局)、富永敬之主任(事務局)



第9回公開授業開催報告

平成26年6月4日（水）9時～12時10分、理学療法学科及び作業療法学科1年生の必修科目「人体の構造と機能」（受講者83名，135講義室）において、公開授業を開催しました。今回の授業では、腎臓と生殖器についての講義が行われました。まず腎臓に関する概要から導入され、その後、徐々に尿管や膀胱の構造、糸球体の微細構造に至るまでが次々に解説されていきました。このタブレットを活用した授業では、人体の構造について口頭で説明しながらカラフルなペン機能を駆使して、理解度を高めるとい



でした。学生には、A3サイズの印刷資料が配布されており、学生たちは教員の説明を聴きながら、スクリーンに映し出されたカラーペンによるリアルタイムの書き込みを目で確認し、それぞれ手元の資料に自分で色鉛筆を使ってせっせと書き加えていくというスタイルでした。チョークを使った板書ではなかなか表現の難しい鮮やかな色使いによって、各器官の説明に合わせながら、タブレットペンで色を塗ったり、説明の文字を加えたりすることができるため、即興のアニメーション効果を得ることができます。さらに、タブレットでは、画面を自在に拡大縮小することができるため、人体の構造と機能のような授業では、特に有用であ

るといえます。また、教員はタブレットを抱えて適宜教室内を移動することもできるため、学生に近寄って様子を確認しながら授業を展開することが可能になります。なお1限目及び2限目が終了する直前にはそれぞれその時間のまとめとミニテストが行われ、さらに課題の提示もなされました。授業終了後には、教室前方で授業実施者の馬場健教授を囲んで参加者相互によるミニ検討会が行われました。自身の授業でのタブレット活用に向けて、機器構成や使い勝手など具体的な質問が活発に飛び交いました。



編集後記

FD企画運営部会は、今年度また新たなメンバーを迎えてのスタートとなりました。茨城県立医療大学では、平成25年度より第4次カリキュラムが始まり、特にインタープロフェッショナル教育をコース化しているところが大きな特徴です。多くの職種の専門家たちが互いの力を発揮して、さまざまな課題を解決していくときに、チームワークは欠かせません。また、チームワークは常日頃のコミュニケーションによる信頼関係が基盤になります。FD企画運営部会では、学内構成員相互のチームワークによって、教育改善に務めていきたいと考えています。1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。（FD企画運営部会長 富田美加）